

いつそう深まりました 友好のきずな

彦根市友好親善使節団が 中国・湘潭市を訪問

公募の市民10人を含む総勢15人の彦根市友好親善使節団が、10月14日から20日まで、本市の友好都市である湘潭市などを訪問しました。本市と湘潭市は昨年友好都市締結10周年を迎えましたが、今回の訪問はそれから最初となる意義深いものとなりました。使節団の湘潭市での交流の様子、団員の感想などを紹介します。

新しい市庁舎、放送局： 施設建設ラッシュの湘潭市

10月14日に関西空港を飛び立った使節団は、その日のうちに湘潭市に到着しました。ここでは、翌15日に集中した団体交流行事を中心に紹介します。

まず、湘潭市政府の表敬訪問では、一行は大勢の市職員の拍手で出迎えを受けました。出張中の陳潤児市長に代わり、彭憲法副市長が歓迎のあいさつを述べられました。使節団の団長を務めた中島市長はお礼とともに、「今回の訪中で、さらに両市の相互理解と友好交流を進めよう」とあいさつし、今後変わらない親



中島市長に感謝旗を渡す夏教育局長

善を深めていくことを確認しました。

また、彦根市PTA連絡協議会から市長に託された文房具の目録とメッセージが夏国華教育局長に手渡されました。文房具は、彦根市PTA連絡協議会が結成50周年を記念して、湘潭市の小学校に贈るために会員などから集めたものです。夏局長からは感謝の印として、感謝旗が市長にこつけられました。

その後、廬東南監査役から現在5か年計画で進められている「湘潭市都市中心区詳細計画設計」について、パネルを使つての説明がありました。その中には、新しい市庁舎が来年度末に完成予定



竣工式典を待つ使節団員ら（菊花塘公園で）

であること、大劇場やテレビ・ラジオの放送局が建設中であることなどが紹介されました。

両市の友好のシンボルが完成

その後、菊花塘公園友誼園に場所を移し、使節団は中国式回廊と日本風の四阿、記念碑などの竣工式典に出席しました。これは、友好都市締結10周年を記念して、両市が協力して工事を進めてきたものです。今後、この施設が両市の友情の証として、また永い親交の誓いとして、たくさんの市民に愛され、親しまれていくことが望まれます。

続いて、目覚ましい発展を続ける湘潭市の産業の実情を視察するため、使節団は湖南金迪化学繊維有限責任公司を訪問しました。近代的な設備を使い、徹底した省力化が進められている様子が見受け



踊りで歓迎してくれた和平小学校の皆さん

られました。

昼食を召さんで、午後からは、湘潭市内の第一中学校と和平小学校を訪問しました。第一中学校は、数多くの人材を輩出している歴史ある学校です。真剣なまなざしで授業に取り組む生徒の皆さんの様子を参観しました。和平小学校では、校門前の鼓隊の演奏による歓迎を受け、たちまち人なつっこい子どもたちに取り囲まれました。書や絵の授業を参観しましたが、子どもたちの仕上げる作品は、使節団員みんなが感心するほどすばらしいものでした。

公式行事のぎっしり詰まった長い一日を締めくくる最後の行事は、湘潭市政府主催の歓迎会でした。会には、彦根を訪問した経験のある人がたくさん参加されました。また、昨年友好都市締結10周年を記念して彦根で公演した湘潭市児童芸術団も、かわいらしい歌や踊りを披露してくれました。最後にはみんなが輪になって彦根ばやしを踊り、友情のきずなを深めました。

見て、聞いて、肌で感じた中国・湘潭市

公募に応じ、市民の代表として湘潭市を訪問した使節団員の4から、次のお二人に湘潭市訪問の感想をお聞きしました。

川島久子さん(中藪町)



私は、彦根市が友好提携している湘潭市にかねがね興味を持っていました。以前の使節

団に参加した友人たちの話を聞いて、私も一度行ってみたいと思っていたのです。

実際参加してみると、どこに行ってもたくさんの方が歓迎してくれて、本当に胸を打たれるものがありました。菊花塘公園では、太鼓の演奏で歓迎してくれた市民の皆さんと親しく交わることができました。

印象に残ったのは、湘潭市の発展ぶりです。5か年計画で都市計画を進めているということで、広い道路で整然と区画された真新しい街並みを見ることができました。おそらく、2、3年後には、まちのあちこちが今とは全く違う風景になっていることでしょう。

辻 外行さん(甘呂町)



友好都市締結から10年が過ぎ、友好交流の姿を自分の目で確かめてみたいと思い参加しました。湘潭市の皆さん

の私たちにに対する歓迎ぶりは聞いていた以上で、両市の友情がしっかり根付いているのを感じました。

15日夜に開かれた湘潭市政府主催の歓迎会で、あいさつされた湘潭市の方は、「彦根市と湘潭市の友好・親善や相互理解では非常にたくさんの成果が得られたので、次は経済・産業面での交流や提携を期待したい」とおっしゃいました。視察で訪れた上海では、古い建物が取り壊され、次々に高層ビルが建てられている現状を目の当たりにし、元気な中国に驚きを感じました。湘潭市や中国全体の経済発展に対する熱意には、すさまじいものがあります。

紙上談話室・8

美しい中国・湘潭市を訪問して

彦根市長 中島一

ご承知のとおり、中国は、平成四年(1992)には社会主義市場経済確立の宣言しました。その翌年には経済5か年計画の成長率を8〜9ポイント上方修正。開放経済がたいへんな勢いで進められています。

中国では、インドネシアや韓国との国交が始まりました。インフレ、所得格差の増大など、市場経済に伴うさまざまな問題も起きています。

このようななか、今回彦根市友好親善使節団15人は、友好都市湘潭市を訪問いたしました。長沙空港から40km、ハイウェイを走る約30分で湘潭市です。

10月15日には市政府表敬訪問。彭憲法常務副市長の歓迎のあいさつに對して、私は「さらに両市の相互理解と友好交流を進めよう」とあいさつしました。また、彦根市PTA連絡協議会から託された文房具の目録とメッセージを手渡しました。

「日本の書聖日下部鳴鶴先生の書が湘潭市内の斉美術館にありますよ」と教えてくださいました。16日には重点大学である湘潭大学を訪れ、「湘潭市新市区計画」に関連して特別講義をいたしました。事例研究として、「み・わ・くのまち彦根の市街地活性化施策」についてお話をしました。40人の先生を含む300人の受講生に、熱心に聞いていただきました。

その後、一行は4班に分かれ、湘潭市民の家庭を訪問しました。私は、不動産、建設業、旅行社を経営しておられる会社の社長さんのお宅を訪れました。17人の大家族が、仲良く、睦まじく暮らしておられます。そのわけは、「親孝行」の儒学の教えを信じているからです、とさりげなく教えてくれました。

私はここで、「お互いに信じ合うことは美しい」ということを確認したところです。

湘潭市の多くの人々に、多くのことを教えられました。末筆ながら謝意を表します。

開催します 「彦根市友好親善使節団 帰国報告会」

10月20日に帰国した友好親善使節団は、本文中の各行事のほか、湘潭市の市民のお宅を訪問したり、旧都西安市や発展目覚ましい上海市の視察を通じて、湘潭市との交流を深めるとともに、中国の文化と現代中国の社会状況を体感してきました。

このような、今回の中国派遣の成果を市民の皆さんと共有するため、帰国報告会を開催します。

日時 12月1日(日)

10:00~11:30

場所 市民会館2階 第2会議室

内容 団長(市長)による報告、各団員の印象や感想の発表、副団長による総括、質疑、意見交換

参加費 無料

定員 50人(先着順)

申込方法・問い合わせ先 電話またはFAXで国際交流課 ☎22-1411 (内線374) FAX22-1398へ